

指導時期	単元	教材名	配当 時数	教材目標	学習活動の流れ	評価規準例	学習指導要領 との対応 (*)は本教科書独自の言語活動例
4月	一 言葉が 照らし出す	虹の足	2 (内、 書1)	●見えている「虹の足」によって、見えていない「虹の足」について考える。	1 「虹の足」などの比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取る。 2 比喩で題名を決め、詩を創作する。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・詩を読み、内容や表現の仕方について理解しようとしている。 ◇ 読む能力 ・「虹の足」と「他人には見えて／自分には見えない幸福」との関連について考えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・抽象的な概念を表す語句やさまざまな表現方法(表現技法)について理解している。 ◇ 書く能力 ・描写を工夫して詩を創作している。	C (1)ア 伝国(1)イ(イ) 言語活動例 C (2)ア
		【話す聞く】 質問する力をつける	1	(●解答を得るために質問し、答えを考える。) (●どのように質問すれば必要な情報を得られるかを考える。)	1 グループで、封筒の中に隠された言葉を当てるために、内容を考えて質問し合う。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・必要な情報を得るために、積極的に質問を繰り返そうとしている。 ◇ 話す・聞く能力 ・必要な情報を得るために質問をし、それに対する回答を注意して聞き、自分が考えていた答えと比較している。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて話や文章の形態や展開の違いがあることを理解している。	A (1)エ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 A (2)ア
		タオル	6	●描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深める。 ●少年の気持ちの変化することの意味について、自分の考えをもつ。	1 全文を通して読み、登場人物やあらすじについて確認する。初発の感想を書き、読みの課題を整理する。 2 祖父をめぐる人々の思いを捉え、祖父の人物像について考える。 3・4 場面ごとの「少年」の心情の変化を捉え、その理由も考える。 5 「涙」に着目して、少年の変化を捉える。 6 「タオル」が果たした役割について考えをもつ。語り方の特徴とその効果を捉え、まとめの感想を書く。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・物語を読んで、内容や表現の仕方について感想を交流しようとしている。 ◇ 読む能力 ・描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立っている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・登場人物がさまざまな呼ばれ方をしていることについて考えている。	C (1)ア C (1)イ 伝国(1)イ(イ) 言語活動例 C (2)ア

		<p>【話す聞く】 図表を用いて提案する</p>	4	<p>●台本をもとに、プレゼンテーションをする。</p> <p>●図表などの資料を用いて、構成や展開を考えて話す。</p>	<p>1 全文を読み、図表を用いて提案するために、どのような順序で活動すればよいのかを確認する。</p> <p>2 調査などを行い、収集した情報をもとに、資料を作成する。</p> <p>3 プレゼンテーションのための台本を作る。</p> <p>4 資料を提示しながら、プレゼンテーションを行い、提案のあり方について友達と意見を交換する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・調べてわかったことや考えたことなどに基づいて発表しようとしている。</p> <p>◇話す・聞く能力</p> <p>・異なる立場を想定して、図表などの資料を用いながら、論理的な構成や展開を考えて発表している。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。</p>	<p>A (1)ア A (1)イ A (1)ウ 伝国 (1)イ (オ)</p> <p>言語活動例 A (2)ア</p>
		<p>言葉の小窓 1 方言と共通語</p> <p>言葉 (解説) 1 方言と共通語</p>	2	<p>●方言と共通語の特徴について知る。</p>	<p>1 『言葉の小窓 1 方言と共通語』を読んで方言で書かれた文を読み比べ、気づいたことを話し合い、方言と共通語について理解を深める。</p> <p>2 第1時を踏まえ、新しい方言や社会方言について知る。方言と共通語の使い分けについて考え、自分たちの言語生活を振り返る。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・共通語と方言の特徴を踏まえ、進んで課題に取り組もうとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・共通語と方言の果たす役割について理解している。</p>	<p>伝国 (1)イ (ア)</p>
5月	二 関係を掘り起す	<p>日本の花火の楽しみ</p>	5 (内、書1)	<p>●筆者のものの見方や考え方を捉え、「日本の花火の魅力」についてまとめる。</p> <p>●全体と部分との関係に着目して文章を読む。</p>	<p>1 全文を通読し、筆者が読者に問いている一文を抜き出し、その答えを一文でまとめる。</p> <p>2 第二大段落から、日本の花火の美しい形・色を実現するための花火玉の仕組みについて示されているところを抜き出す。</p> <p>3 第三大段落から、花火師の理想とする花火の「形」や「変化」が示されているところを抜き出し、理想の花火について話し合う。</p> <p>4 第四大段落の結論部分を踏まえながら、筆者が述べている日本の花火の魅力について、その中の一つを選び、文章にまとめる。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・筆者のものの見方や考え方に興味をもち、「日本の花火の魅力」についてまとめようとしている。</p> <p>◇読む能力</p> <p>・文章全体と部分との関係に着目して、説明の仕方を捉えて読んでいる。</p> <p>・筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、「日本の花火の魅力」についてまとめている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・抽象的な概念を表す語句に注意し、その意味を的確に理解して読んでいる。</p>	<p>C (1)ア C (1)イ 伝国 (1)イ (イ)</p> <p>言語活動例 C (2)イ</p>
				<p>5 私たちの社会や日常生活の中で思い起こされる「日本の〇〇の魅力」について、文章にまとめる。</p>	<p>◇書く能力</p> <p>・「日本の〇〇の魅力」について、多様な方法で材料を集めながら、自分の考えをまとめている。</p>	<p>B (1)ア</p>	

6月	【書く】 新聞の投書記事を書く	5	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見（立場）にそって投書記事を書く。 ●「構成の型」を用いて、文章を書く。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 新聞の投書記事を書くための活動の流れと、「構成の型」を確認する。 2 「表現テーマ例集」を参考にして、投書記事のテーマを決める。 3 「構成の型」を用いて投書記事を書く。 4 自分の意見を振り返り、表現や構成に注意して、推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、意見を交換する。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書こうとしている。 <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら、立場を明確にして、文章の構成を理解して自分の意見を書いている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。 	B (1)ア B (1)イ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 B (2)イ
	漢字の広場1 ましがえやすい漢字	1	●似た形やましがえやすい漢字についての理解を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1 似た形やましがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書くようにする。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形の似た漢字やましがえやすい漢字について興味をもち、その違いを積極的に見つけようとしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形と音、字形と意味の関係を理解し、正しい字形で漢字を書いている。 	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
	言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 言葉（解説） 2 話し言葉と書き言葉	2	●話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。	<ol style="list-style-type: none"> 1 『言葉の小窓 2 話し言葉と書き言葉』を読んで、課題意識をもち、話し言葉と書き言葉の違いについて考えるため、「考えよう」の変換作業に取り組む。 2 「考えよう」の結果をもとにして、話し言葉と書き言葉のそれぞれの特徴やその理由、特徴の生かし方などについて考える。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴について、日常生活に即して考えようとしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴をあげている。 	伝国(1)イ(ア)
三 自己をひらく	夢を遊ぶ (内、書2)	4	●さまざまな方法で集めた情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 『夢を遊ぶ』を読み、感想や関心をもった点などについて意見を交流する。 2 「みちしるべ」を読み、自分の考えをまとめるための方法と手順を確認したうえで課題を決める。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本や文章などから適切な情報を得て、課題を調べようとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特徴を生かした情報収集の手段を理解している。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、情報を整理している。 	C (1)オ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 C (2)ウ
				<ol style="list-style-type: none"> 3 課題についての理解を深めるために、マッピングなどで自分の課題を決め、図書館やインターネットを活用して資料を集める。 4 さまざまな方法で集めた資料や情報を整理し 	<p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な方法で材料を集めながら、自分の考えをまとめている。 	B (1)ア

				て、自分の考えをレポートにまとめる。		
7月	物語を読み解く	3	●言語表現を映像表現に変換することで、それぞれのメディアの特性を知り、解釈を広げる。	1 作品を読むことと「語り直す」ことを、『ごんぎつね』についての記憶と結びつけて考える。 2 『ごんぎつね』の四つの絵コンテから、映像や作り手の捉え方について考える。 3 「言語の『語り』、映像の『語り』」を読み、それぞれのメディアの特性について考えを深める。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・言語表現と映像表現のそれぞれの特徴を比較し、作品についての自分の考えを深めようとしている。 ◇ 読む能力 ・読んだ文章から適切な情報を得て、言語表現と映像表現の違いについて考えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	C (1)オ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 C (2)ア C (2)ウ
	文法の小窓1 活用のない自立語 文法(解説) 1 活用のない自立語	2	●活用のない自立語を理解する。	1 名詞、指示語の種類と用法について理解を深める。 2 連体詞、副詞、接続詞、感動詞の種類や用法について理解を深める。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・活用のない自立語の性質やはたらきについて理解しようとしている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・活用のない自立語の性質やはたらきについて理解している。	伝国(1)イ(エ)
	漢字の広場2 漢字の成り立ち	1	●漢字の成り立ちについての理解を深める。	1 漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・漢字の成り立ちに興味をもち、それについての知識を深めようとしている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・漢字の成り立ちの六つの原理について理解している。	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)
9月	四 表現を見つめる	3 (内、 書1)	●情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。	1 声に出して短歌を読み、情景や心情を味わう。 2 鑑賞文を交流することをとおして、情景や心情を示している表現に着目し、短歌にこめられた思いや感動を読み取る。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・内容や表現の仕方について感想を交流しようとしている。 ◇ 読む能力 ・描写の効果を考え、内容の理解に役立てている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、近代短歌の世界を楽しんでいる。	C (1)ア C (1)イ 伝国(1)ア(ア) 言語活動例 C (2)ア
				3 短歌のきまりを知り、短歌を創作する。	◇ 書く能力 ・情景や心情が効果的に伝わるように取り入れて、創作している。	B (1)ウ

	夏の葬列	6	<p>●構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流する。</p> <p>●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深める。</p>	<p>1 全文を通して読み、難しい語句について調べ、あらすじを把握する。</p> <p>2 物語の展開を捉え、感想の交流をとおして読みの課題を設定する。</p> <p>3 人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流する。</p> <p>4 結末部分について考えを深め、話し合いをする。</p> <p>5 物語の展開や表現の工夫がどのような効果をもたらしているか考える。</p> <p>6 主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について話し合う。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深めようとしている。</p> <p>◇読む能力</p> <p>・構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流している。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・指示語の役割や効果について理解している。</p>	<p>C (1)イ</p> <p>C (1)ウ</p> <p>伝国(1)イ(イ)</p> <p>言語活動例</p> <p>C (2)ア</p>
	【書く】 写真から物語を創作する	4	<p>●表現の仕方を工夫して、物語を創作する。</p> <p>●描写や比喩などを用いて、心情を効果的に伝える。</p>	<p>1 写真A, Bの人物像を設定し、比喩や描写を用いて表現する。</p> <p>2 他の写真と組み合わせる。人物との関連を考える。会話やできごとなどを加え、物語の筋を決める。</p> <p>3 描写や比喩を用いながら、物語を創作する。</p> <p>4 作品を読み返し、心情を効果的に伝える工夫について振り返る。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・表現の仕方を工夫して、物語を創作しようとしている。</p> <p>◇書く能力</p> <p>・心情が効果的に伝わるように、描写や比喩などを取り入れて書いている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。</p>	<p>B (1)ウ</p> <p>伝国(1)イ(オ)</p> <p>言語活動例</p> <p>B (2)ア</p>
	漢字の練習 1	—	—	—	—	<p>伝国(1)ウ(ア)</p> <p>伝国(1)ウ(イ)</p>
10月	漢字の広場 3 漢字の多義性	1	<p>●漢字の多義性についての理解を深める。</p>	<p>1 漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・漢字の多義性について興味をもち、それについての理解を深めようとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・漢字のもつ複数の異なる意味を理解し、熟語を正しく書き表している。</p>	<p>伝国(1)イ(イ)</p> <p>伝国(1)ウ(ア)</p> <p>伝国(1)ウ(イ)</p>

五 伝統を見いだす	敦盛の最期	3	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ●文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。 	<ol style="list-style-type: none"> 『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『平家物語』の中心思想を理解する。 「敦盛の最期」を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物を確認してせりふの主語を確定する。 記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、一人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・文章の特徴や内容をおさえて朗読しようとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動からわかることをノートにまとめ、それを根拠に話し合っている。 ・七五調のリズムや音便、擬態語・擬音語を意識して朗読している。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いのきまりを理解して、朗読している。 	伝国(1)ア(ア) 伝国(1)ア(イ) C(1)イ 言語活動例 C(2)ア
	随筆の味わい	3	<ul style="list-style-type: none"> ●古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像する。 	<ol style="list-style-type: none"> 仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 『徒然草』を読んで筆者の考え方を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・古人のものの見方や考え方に興味をもち、自分の考えを書こうとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもっている。 ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、筆者の思いを想像している。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・古語の意味を正確に捉えている。 	伝国(1)ア(イ) C(1)エ 言語活動例 C(2)イ
	二千五百年前からのメッセージ	3	<ul style="list-style-type: none"> ●表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ●文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。 	<ol style="list-style-type: none"> 書き下し文を音読したり暗唱したり、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 教科書の章句の中から一つを選ばせて、そのよさについて話し合う。 『論語』の言葉で心に響いた表現や内容について自分の考えをまとめ、好きな孔子の言葉を暗唱させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・文章の特徴や孔子の考えに関心をもち、暗唱しようとしている。 ◇読む能力 <ul style="list-style-type: none"> ・孔子のものの見方や考え方の中で心に響いた表現や内容について、自分の考えをまとめている。 ・作品の特徴を生かして音読や暗唱をしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・二千五百年前もの昔の言葉が現在もことわざや成句として生き続けている生活を振り返って確かめている。 	伝国(1)ア(ア) C(1)エ 言語活動例 (*)
	【書く】 お礼の手紙を書く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●相手や目的に応じて、お礼の手紙を書く。 ●「推敲のポイント」にそって手紙を推敲する。 	<ol style="list-style-type: none"> 誰にどのようなお礼の手紙を書くのかを決め、手紙の形式などについて確認する。 「していただいたこと」などをメモに書き出し、手紙の形式を踏まえて下書きをする。 教科書P130の「推敲のポイント」にそって下書きを推敲する。 友達と下書きを読み合ったあとに清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を意識して、お礼の手紙を書こうとしている。 ◇書く能力 <ul style="list-style-type: none"> ・書いた手紙を読み返し、語句の使い方、文や段落相互の関係などに注意して、読みやすくわかりやすい文章にしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。 	B(1)エ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 B(2)ウ

11月	六 他者と生きる	言葉の小窓3 敬語	2	●敬語のはたらきや特徴について知る。	1 敬語のはたらきと用法について理解する。 2 敬語を使って手紙を書き、グループ内で紹介する。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・敬語の種類とはたらきについて理解しようとしている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・敬語の種類とはたらきについて理解している。	伝国(1)イ(ア)
		坊っちゃん	3	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	1 『坊っちゃん』を読み、作品の続きを予想する。 2 さまざまな資料を参考にして、近代の小説や物語を探して読む。 3 自分の読んだ小説や物語の内容紹介をとおして、近代文学への関心を深める。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・近代を代表する作家とその作品に興味をもち、近代文学を読もうとしている。 ◇ 読む能力 ・作品に登場する人物や、作品のあらすじを捉えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・近代文学に使われている語句や表現の効果について考えている。	C(1)オ 伝国(1)ア(イ) 言語活動例 C(2)ウ
		水の山 富士山	3	●富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 ●取り上げている事例の提示の仕方と、問いと答えの関係を確かめながら読む。	1 全文を通して読んで概要を捉え、小見出しを考えながら段落分けをする。 2 事例の提示や、問いと答えの関係を確かめながら読む。 3 富士山の恵みについての筆者の考えを捉え、それについての自分の考えをまとめる。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・筆者の考えや説明的文章の表現について関心をもち、自分の考えを述べようとしている。 ◇ 読む能力 ・筆者の考えや文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 ・事例の提示の仕方を的確に把握し、筆者の論の組み立てをおさえて、筆者が解明した「富士山の原理」を捉えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えている。	C(1)ア C(1)イ C(1)ウ 伝国(1)イ(ウ) 言語活動例 C(2)イ
ガイアの知性	5 (内、 話 聞 1)	●自然や知性に対する筆者の考え方について、自分の考えをまとめる。 ●文章の構成や展開、表現の仕方を確かめながら、筆者の考えの根拠を明確にして読む。	1 全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を捉える。 2 第一大段落の二つの問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。また、第二大段落では、「鯨や象」の「高度な『知性』」の実体を捉える。 3 第三大段落では、全体を集約する「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、それをもとにして筆者の提言・主張の妥当性について判断する。 4 筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・自然や知性に対する筆者の考え方について関心をもち、自分の考えをもとうとしている。 ◇ 読む能力 ・筆者の提言・主張に対して自分なりの考えを形成し、文章などに表現している。 ・文章全体と部分との関係に着目して読み、筆者のものの見方や考え方、および主張について捉えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句に注意し、その意味と類義や対義の対応関係を的確に理解して読んでいる。	C(1)ア C(1)イ C(1)ウ C(1)エ 伝国(1)イ(ウ) 言語活動例 C(2)イ		

				5 二つの文章の特徴や、筆者の考えに対する自分の考えなどについて、論理的な構成を考えて話し、友達と自分の考えとを比較しながら聞く。	◇話す・聞く能力 ・異なる立場や考えを踏まえて自分の考えをまとめて話すとともに、話の論理的な構成に注意して聞き、自分の考えと比較している。	A (1)イ A (1)エ	
		漢字の練習 2	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	
		【話す聞く】 話を聞いて自分の考えと比べる	4	●友達のスピーチを聞いて、自分の考えと比べる。 ●論理や構成の仕方を評価しながら聞く。	1 自分の考えを広げるための聞き方について確認する。 2 話す側、聞く側の役割を確認し、聞き手はスピーチを聞き、自分の考えと比較しながら評価する。 3 前時の学習を振り返り、友達のスピーチを聞く。 4 自分の考えがどのように広がったのかをまとめる。よりよい聞き方について友達と話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・話し手が話しやすい聞き方について考えたり、話を聞いて意見を述べたり質問をしたりしようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	A (1)エ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 A (2)ア
		【書く】 意見文を読み合う	4	●筆者の主張に対する意見文を書く。 ●互いに読み合い、文章の表現を高める。	1 『ガイアの知性』を読み、筆者の自然観(主張)を捉え、自分の考えをもつ。 2 「序論—本論—結論」の構成で、根拠をあげて、意見文を書く。 3 書いた文章を推敲する。 4 「交流カード」や付箋などを用いて、友達と文章を読み合ったあとに、清書する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書こうとしている。 ◇書く能力 ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成などについて、意見を述べたり助言したりしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	B (1)オ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 B (2)イ
		文法の小窓 2 活用のある自立語 文法(解説) 2 活用のある自立語	3	●用言の活用と種類・用法を理解する。	1 活用のある自立語について理解を深める。 2 「解説」を参考に、動詞の種類や役割について理解を深める。 3 「解説」を参考に、形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深める。	◇国語への関心・意欲・態度 ・用言の活用を中心に、それぞれの品詞の性質とはたらきについて理解しようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・用言の活用を中心に、それぞれの品詞の性質とはたらきについて理解している。	伝国(1)イ(エ)
12月		学ぶ力	5 (内、書1)	●筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめる。 ●文章全体と部分	1 全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 2 全文を、提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・筆者のものの見方や考え方に興味をもち、知識や体験と関連づけて自分の考えをまとめようとしている。 ◇読む能力 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、知識や体験と関連づけて自分の考	C (1)ア C (1)イ C (1)エ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 C (2)イ
1月	七 自己と対話する						

			との関係や、例示などの効果を捉える。	<p>3 筆者の主張を読むことをとおして、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。</p> <p>4 文章の構成や例示などの、表現の工夫や効果について考える。</p> <p>5 筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り、文章にまとめる。</p>	<p>えをまとめている。</p> <p>・文章の全体と部分との関係や、例示などの効果を捉えている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。</p>	
					<p>◇書く能力</p> <p>・事実や事柄、意見が効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書いている。</p>	B (1)ウ
		6	<p>●複数の考え方がある問題について、意見文を書く。</p> <p>●自分の主張の根拠を示して、文章を書く。</p>	<p>1 根拠が明確な文章を書くための順序や方法について理解する。</p> <p>2 四コマ漫画を読んで自分の「課題」をもつ。</p> <p>3 自分の考えを「事実」「理由づけ」「主張」の形で整理し、「主張」の根拠を明確にする。</p> <p>4 「頭括型」「尾括型」「双括型」から構成を選び、意見文を書く。</p> <p>5 書いた文章を推敲する。</p> <p>6 友達と文章を読み合い、説得力のある文章について考える。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書こうとしている。</p> <p>◇書く能力</p> <p>・自分の立場を明確にして、「事実」「理由づけ」「主張」を整理し、根拠をあげて、文章を書いている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・相手や目的に応じた文章の形態や展開の違いを理解している。</p>	<p>B (1)ア</p> <p>B (1)イ</p> <p>B (1)ウ</p> <p>B (1)エ</p> <p>B (1)オ</p> <p>伝国(1)イ(オ)</p> <p>言語活動例</p> <p>B (2)イ</p>
		2	●日常生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。	<p>1 類義語と対義語の意味や特徴を理解し、例文を調べたり、考えたりして用法を知る。</p> <p>2 多義語や同音語の意味や特徴を理解し、例文を調べたり、考えたりして用法を知る。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・類義語と対義語、多義語や同音語について、興味をもって学習しようとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・類義語と対義語、多義語や同音語について理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	伝国(1)イ(イ)
		—	—	—	—	<p>伝国(1)ウ(ア)</p> <p>伝国(1)ウ(イ)</p>
2月		1	●語りかける言葉に向き合って、思いと向き合う。	1 「レモン」のもつ意味や作者の実像などを重ねて詩を朗読することで、作品の世界を味わう。	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <p>・詩の内容や表現について、捉えようとしている。</p> <p>◇読む能力</p> <p>・詩の内容や表現に注目し、「わたし」が「あなた」にどのような思いをもっているかを想像している。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <p>・「レモン」という語句に託された象徴的な意味について理解している。</p>	<p>C (1)ウ</p> <p>C (1)エ</p> <p>伝国(1)イ(イ)</p> <p>言語活動例</p> <p>C (2)ア</p>
	八 考えを交流する					

<p>【話す聞く】 反対意見を想定して話すには</p>	<p>—</p>	<p>(●相手に納得してもらえらるるようるるに表現する。) (●反対意見を想定し、それに対する答えを考るるる。)</p>	<p>1 話し合ひのテーマを決定し、自分の立場とその理由、根拠を考るる、反対意見を想定し、答えを考るるるで話す。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・相手に納得してもらうために、情報を収集したり根拠を明確にしたりにして、意見を組み立てようとしてるるる。 ◇話す・聞く能力 ・根拠となる材料を整理し、根拠をもとに反対意見に対する答えを考るるるで話してるるる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることを理解してるるる。</p>	<p>A (1)ア A (1)イ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 A (2)ア</p>
<p>文法の小窓3 付属語のいろいろ 文法 (解説) 3 付属語のいろいろ</p>	<p>2</p>	<p>●付属語にはどのようなものがあるのかを考るるる。</p>	<p>1 教材文と「解説」を讀み、助詞や助動詞のはたらきについて理解する。 2 助詞の役割とはたらき、助動詞の種類とはたらきについて理解する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・付属語の種類とその用法について知ろうとしてるるる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・付属語の種類とその用法について理解してるるる。</p>	<p>伝国(1)イ(エ)</p>
<p>漢字の広場4 同音の漢字</p>	<p>1</p>	<p>●同音の漢字についての理解を深める。</p>	<p>1 同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・同音の漢字について興味をもち、それについての知識を深めようとしてるるる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・同音の漢字について理解し、その意味の違いに注意しながら正しく使っている。</p>	<p>伝国(1)イ(イ) 伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)</p>
<p>走れメロス</p>	<p>7 (内、書1)</p>	<p>●登場人物や語り手のものの見方や考るるる方についての理解を深め、自分の考るるるをもつ。 ●描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果を捉える。</p>	<p>1 全文を通讀し、新出漢字や難意語句について理解する。 2 全体の構成を捉えるとともに、第一場面、第二場面を音讀し、状況(場面)設定や、人物設定についてまとめる。 3 第三場面、第四場面を音讀し、できごとをまとめるとともに、そのことについての自分の考るるるをもつ。 4 第五場面、第六場面を音讀し、メロスとセリヌンティウスの言動や心情、ディオニスの変化を捉え、そのことについて自分の考るるるをもつ。 5 シラーの『人質』と比べ読みをすることにより、『走れメロス』に特徴的な点を明らかにする。 6 語りの特徴を踏まえ</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・文章に表れてるるるものの見方や考るるる方について関心をもち、自分の考るるるをまとめようとしてるるる。 ◇読心能力 ・文章に表れてるるるものの見方や考るるる方について理解し、自分の考るるるをもっている。 ・描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果を捉えている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・文章に用いられるさまざまな表現に着目し、その効果について考るるるでるるる。</p>	<p>C (1)イ C (1)エ 伝国(1)ア(ア) 言語活動例 C (2)ア</p>

				て読みをまとめ、感想や意見を交流することによって自分の考えをもつ。		
				7 サイドストーリーとして「空白の三日間」を自由に想像し創作することで、読みを深める。	◇書く能力 ・描写や心情が相手に効果的に伝わるように書いている。	B(1)ウ
3月	【話す聞く】 役割を決めて 討論する	5	●目的や自分の役割をふまえて、グループで討論する。 ●相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる。	1 社会生活の中から話題を決め、自分の考えをもつ。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項を確認する。また、役割や討論のあり方を理解する。 3 テーマと役割を決めて、グループで討論を行う。 4 前時の課題を踏まえ、役割を変えて、討論を行う。 5 討論を振り返り、役割を決める意義について考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うおうとしている。 ◇話す・聞く能力 ・相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・相手や目的に応じて、話や文章の形態に違いがあることを理解している。	A(1)オ 伝国(1)イ(オ) 言語活動例 A(2)イ
	漢字の練習 4	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)

時数合計 118時間 (内、話すこと・聞くこと 15時間、書くこと 30時間)

※本表中、「反対意見を想定して話すには」「漢字の練習」の時数や学習活動などについては、適宜扱う。

※本表中、「教材目標」欄に()で示してあるものは、教科書では目標として示していないが、想定される目標として設定したものである。

※本表に記載のない教材(「四季のたより」「本の世界へ」「言葉と仕事」「ことばの散歩道」「言葉の自習室)」については、適宜扱う。